



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2020/11/15 Rd-4 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：23℃ 出走台数：20台

観客数：14日(土)2,550人 15日(日)4,410人 合計6,960人

好天に恵まれたオートポリス、気温23度、路面温度28度の陽気の中、41週の決勝レースが幕を開けた。レースは41周中、10周目以降にタイヤ4輪交換を行わなければならない。

フロントロウからは福住選手が、3番グリッドから山本選手が、スタートに向けて集中力を高めていく。福住選手は2番手ポジション維持で1コーナーへ。山本選手は出遅れてしまい5番手にドロップしてしまう。7周目にアクシデントが発生しセーフティカーが導入されたが、9周目にレースは再開された。10周目を終え、複数の車両がタイヤ交換を済ませる中、11周目にストップ車両が発生し再びセーフティカーが導入される。チームはこのタイミングで福住選手をピットに呼びタイヤ交換を行うも、機材トラブルによってタイムロス。大きくポジションを落としてコースに復帰となってしまった。

ステイアウト戦略をとった山本選手は、ピットイン組首位の野尻選手とのタイムギャップを稼ぐべく1分28秒台を連発する。野尻選手に対して28秒以上の差をつけなければ、タイヤ交換後、前に出ることができない山本選手だが、25.4秒差まで広げた39周終了時点でピットイン。チームも6秒6という驚速タイムでタイヤ交換を済ませ、3.7秒差の2番手で山本選手を送り出す。山本選手も最後まであきらめることなく猛プッシュするが、0.6秒届かず2位でレースを終えることとなった。

福住選手は、集団の中でペースを上げられず、後半随所でバトルを見せるも9位でゴール。ポイント獲得でレースを終えた。

5：山本選手 2位 (HONDA 勢2位)

スタートでミスもありポジションを落としてしまいました。セーフティカー導入などに対応し、戦略も上手く行って優勝争いできたことは良かったですが、一步届きませんでした。週末を通して、要所要所で勝ちきれなかった思いもありますが、2戦連続表彰台で終えることが出来、シーズンを考えると大きくポイント加算できて良かったです。

良い部分、足りない部分をしっかりと精査して、次戦鈴鹿サーキット2連戦に臨みます。

6：福住選手 9位 (HONDA 勢5位)

スタートで首位に立てなかったものの、レース前半は非常に良い感触でした。

タイヤ交換作業時のトラブルで大きく順位を落とすこととなり、集団の中で抜きにくいオートポリスではなかなか順位を上げることが出来ませんでした。予選でも決勝でも、車はともよくて、自信もあっただけに、本当に悔しいです。チームと共に、速さと強さを追求します。